



るうてる



2015年
7月
No.811

■発行所 ■
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-1
電話 03-3260-8631

■ウェブサイト ■ <http://www.jelc.or.jp>
■E-mail ■ jelc@jelc.or.jp
■発行人 ■ 安井宣生 koho06@jelc.or.jp
■印刷 ■ 精文堂印刷株式会社
■定価 ■ 1部 40円 (郵税を含む)
■振替口座 ■ 00190-7-71734

説教「心動かされて」

日本福音ルーテル宮崎教会牧師 秋山 仁

イエスは町や村を残らず回って、会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、ありとあらゆる病氣や患いをいやされた。また、群衆が飼い主のいない羊のように弱り果て、打ちひしがれているのを見て、深く憐れまれた。そこで、弟子たちに言われた。「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださいるように、収穫の主に願いなさい。」

(マタイによる福音書9章35〜38節)

弟子たちとガリラヤ地方を巡り歩くイエス様。イエス様は方々の町や村で福音を宣べ伝え、病を癒すわざを行っていきます。そこでイエス様は、人々が飼う者のない羊のようなありさまであるのを見ます。世話をするものがない羊に例えられる姿、それは、生活に疲れ果て、不安や心配さ、あるいは苦痛を抱え、訴えながらも、どうしたらその状態から脱出できるのか判らない人々を表しています。

その状態を見て、イエス様は「深く憐む」のです。この深く憐れんだという言葉は、「彼らのことで腸のちぎれる思いに駆られた」ということを意味します。それは上から見下ろすような同情とは違うのです。腹の底から突き動かされるような衝撃を受けたということなのです。この思い、体験、それがイエス様を次の行動へと突き動かしていくのです。12人の弟子たちを宣教と癒しのわざを行うために派遣するのです。



その弟子の派遣。およそ現実的とは思われなない勧めがなされていきます。つまり、弟子たちは身に付けた衣類以外の物は、何も持つことを許されないとされています。そこで

「こんな技術を持つている」ということは、さほど私を助けてはくれませんでした。むしろ「自分はまだまだだなあ」と思うことの方が多かったし、今もそうです。だから「私は何かを持つている」とか、あるいは「他の人を超えることができる何かがある」とか、おこがましいのかもしれない。

イエス様が語る「収穫」とは、「人々の思いを聴くこと」であるともいえます。人々の感じる苦痛や悩み、怒り、あるいは喜び、それを聴いて集めていくこと、それが収穫なのではないか、と思うのです。弟子たちがなすべきことは、人々の思いを携えてイエス様の前に差し出すことです。そのことが癒しを起すし、癒しそのものであるといえます。それはまた、派遣された弟子たちだけに命じられていることではない。今の教会に対し



でも、私たちに對してもまた、命じられていることなのです。私たちが出会う人たちの思いを、また私たち自身の思いを聴き、集め、イエス様の前に携えていくこと、その「収穫」と癒しのわざが求められているのです。

最後に、弟子たちは、自分たちだけが派遣される者として立てられているのではないということも重要です。弟子たちに求められているのは、働き手が増し加えられるようにと祈ることです。そのために心を砕き、思いを巡らして祈ることです。この働き手が与えられるように祈るとは、決して「誰か他の人がやってくれる」と任せっきりにしてしまうこととは違います。ふさわしい働き手を、信頼に足る働き手を、探し育てることもあります。

それゆえに弟子たちは、イエス様自身が感じたように、出来事や出会いの中で、心深く憐れみ、心突き動かされる体験から感じとることを、やはり求められているのです。

今、現代に生きる私たちが、弟子たちのように、伝道へ、福音宣教へ、癒しのわざへと召し出されていくことを望むならば、私たちもその感性を磨くことを忘れてはならない、と思うのです。

イエス様が語る「収穫」とは、「人々の思いを聴くこと」であるともいえます。人々の感じる苦痛や悩み、怒り、あるいは喜び、それを聴いて集めていくこと、それが収穫なのではないか、と思うのです。弟子たちがなすべきことは、人々の思いを携えてイエス様の前に差し出すことです。そのことが癒しを起すし、癒しそのものであるといえます。それはまた、派遣された弟子たちだけに命じられていることではない。今の教会に対し

最後に、弟子たちは、自分たちだけが派遣される者として立てられているのではないということも重要です。弟子たちに求められているのは、働き手が増し加えられるようにと祈ることです。そのために心を砕き、思いを巡らして祈ることです。この働き手が与えられるように祈るとは、決して「誰か他の人がやってくれる」と任せっきりにしてしまうこととは違います。ふさわしい働き手を、信頼に足る働き手を、探し育てることもあります。

ネパール支援連帯献金報告



4月25日に発生したネパール地震により、被災した方々へ祈りと義援金を寄せてくださり感謝いたします。6月17日現在、2477,472円が献げられました。6月5日時点、合計150万円を現地で活動するACT (Action by Church Together / ルーテル世界連盟と世界教会協議会による災害救援部門)宛に送金し、救援活動に用いられています。

宗教改革500年に向けて

ルターの意義を

改めて考える(39)

ルター研究所所長 鈴木 浩

預言者のエレミヤは「主よ、わたしがあなたと論じ争う時、あなたは常に正しい。しかしなお、わたしはあなたの前、さばきのことを論じてみたい。悪人の道がさかえ、不信実な者がみな繁栄するのはなにゆえですか。」(エレミヤ書12章1節・口語訳。エレミヤはこの世の不条理に腹を立て、神に異議申し立てをする。

ヨブ記は苦難の問題を真正面から取り上げる。不条理な苦難に苦しむヨブの問いは、「なぜだ!」ということに尽きる。人は「意味」が分

ければ、かなりの苦難・苦痛に耐えられる。しかし、その意味が分からないとき、「なぜだ!」と問わずにはいられないのだ。しかし、神は沈黙したまま、肝心の答は出さない。旧約の問いは答えられないまま、事実上、放置される。

イエスは十字架の上で、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」と絶望の声を上げて死んでいく。ここでも「なぜだ!」という問いが響く。

神は、イエスの姿の中で不条理を背負い込んで、「なぜだ」と問う人間に連帯する。神は、「なぜだ!」と自分も苦しむことにより、回答としたのだ。ルターはそこに真の神を見た。

BIBLE CAMP
全国青年バイブルキャンプ
第3回
日本福音ルーテル教会宣教室 TNG-YOUTH
2015年8月21~23日
全国青年バイブルキャンプ
日本ルーテル神学校にて
JELC-TNG-YOUTH

詳細は教会宛の募集要項、もしくは、以下のURLにてご確認ください。
<http://the-next-g.blogspot.jp/>



議長室から

『アウグスブルク信仰告白』が刊行される予定です。いずれも私たちルーテル教会の信仰的遺産を学び直し、それを信仰生活の励みにできる優れた書ですから、牧師の指導をいただきながら、あるいはグループでの学

「アウグスブルク信仰告白」に戻りますが、「信仰告白」という言葉からすぐに頭に浮かぶことは「信仰告白文書」ではないでしょうか。神学校で学んだ牧師たちは第二次世界大戦下の『バルメン

て、教会が積極的に「信仰告白文書」を世に表わすべきだと考える方もいらっしゃるに違いありません。そのような文書を作成することの重要性は論を待ちませんが、信仰告白

した。心の中にキリストを閉じ込めているのではなく、それを隣人に分け与えることで、私たち自身に救いの喜びが実現すると言っています。

このような信仰告白は「証し」という言葉に言い換えることができるでしょう。この言葉はもともと「殉教」という意味を持つていると云われます。見た目の麗しい言葉を並べたのではなく、欠けた器を神様に用いていた

地道な、足元からの信仰告白

総会議長 立山忠浩

習会の題材として用いていただければ幸いです。また、今年初めに出版されたルーテル教会とカトリック教会が共同で発行した『争いから交わりへ』も同様に有効に用いていただけることを期待しています。

宣言』を挙げるかも知れません。身近なところでは「宣教百年信仰宣言」(1993年)や「原発をめぐる『声明』」(2012年)を思い起こす人もいるでしょう。さらには、憲法改正や戦後70年の首相談話などに対し

の原点を見失ってはいけません。それは、キリスト者であるならば誰にも共通していることです。使徒パウロは「心で信じて義とされ、口で公に言い表して救われるのです」(ローマの信徒への手紙10章10節)と教えます。

震災から4年4ヶ月、ルーテル教会救援の活動終了から1年4ヶ月が過ぎようとしています。私は、ルーテル教会救援の活動終了後、個人的に支援先の支援を継続してきましたが、その中から最近いただいたお便りの抜粋をご紹介します。

「此方、川前河川団地は当時91戸分の部屋も昨今は70戸分足らずとなりました。・・・私は集団移転を希望しまして、その土地はここからおおよそ2キロメートルの所ですが、田んぼですり土中で来年半ばまでその工事が続くらしいです。その後、区画を整備し完了は3、4年後とのこと、老人達は「俺アそれまで生き延びられるかなあ」などと苦笑しています。・・・この頃はいささか冷えてしましまして、支援物資の配布会、またカラオケ会もほとんど来てくださらなくなりました。さびしい限りです」

ましたのでご賞味いただければと思います。まだまだ浜は復興途中ですが、組合員、役員一同一丸となり、浜の早期復興を頑張りたいと思っております。」

宣教の取り組み

小教理問答の学び

伊藤節彦(広島教会)

昨年、『エンキリデオンの小教理問答』が発行されたのに伴い、西教区が購入価格の半額補助をしてくださるようになりました。そこで、「善は急げ、この機会を逃すな!」とばかりに早速40冊を購入しました。

一方、呉礼拝所では毎週水曜日に聖餐礼拝を守り、昼食を挟んで午後から6名ほどで聖研を行っています。昨年までは石田順朗先生の『神の元氣

月かけて学んだばかりでしたので、多くの皆さんが関心をもってお求めになりました。また、教区の補助を受けた分は、受洗希望者や堅信教育用に無料で差し上げられるように教会在庫として揃えることが出来、早速、この4月に高校に進学した4名の若い兄弟姉妹にプレゼントしました。

学ばば学ばばと味わい深いなあというのが感想です。牧師は本書を通して、現代に生きる私たちの生の現場のご真ん中で、信仰とは何かを改めて問い、その答えを教会の皆さんと共に紡ぎ出していくことが求められるのだと思います。信仰に生きようとすればするほど「これはなんですか?」という信仰の問いは真剣

なものとなっていくから取り次ぐ教会』を学んでいきましたが、今年の1月からはいよいよ『エンキリデオンの』を学んでいるところなんです。

本書は伝統的に洗礼教育に用いられますが、繰り返し学び直すことでその真価が鮮やかさを増してくる不思議な書です。呉礼拝所では近年受洗者もなく、何十年前も前に小教理を学ばれた方ばかりです。しかし、様々な信仰の旅路の経験が、ルターという言葉を立て的に浮かび上がらせ鮮やかなイメージで迫ってくるのです。また小さな群れだからこそ、毎回皆さんの表情や息づかいを感じながら

ら、時に楽しく、時に厳しく学びを行っています。聖書のみ言葉と『エンキリデオンの』は、まさに信仰の戦いに「必携」

また、先日は、仮設住宅で「つるしびな」の製作指導を行った「河北ボランティア友の会」の方も信州に連れられ、復興公営住宅完成後の支援についでのお話もしていかれました。支援品の販売も継続していますので、引き続きお祈りとお送り致します。ご支援をお願いいたします。



ルーテル教会救援 支援先の現状

元ルーテル教会救援 派遣牧師 野口勝彦

震災から4年4ヶ月、ルーテル教会救援の活動終了から1年4ヶ月が過ぎようとしています。私は、ルーテル教会救援の活動終了後、個人的に支援先の支援を継続してきましたが、その中から最近いただいたお便りの抜粋をご紹介します。



石巻市・仮設追波川(川前)河川団地 武山久仁男さん

礼拝式文の改訂



⑭教会暦と聖書日課の検討

日本ルーテル教団式文委員
白井真樹

式文委員会では、礼拝式文の改訂に伴い、礼拝を行う際の暦(教会暦)と、礼拝で聴く聖書日課(朗読配分)の検討を進めています。その資料として、2012年より教会手帳の巻末に、「共通改訂聖書日課」(RCL)という表を掲載しており、その一覽表に記載されているものが、現在検討している暦と日課です。

(1)教会暦

現行の教会暦と比べて大きく目立つ変更点は、主に二つあります。まず一つ目は、現行の暦では、顕現主日の次の週を「主日の洗礼日」とし、さらにその翌週を「顕現節第3主日」とし、以下、「顕現節第3主日」としてきました。

これを改め、「主の洗礼日」の後は「顕現後第2主日」とし、以下も「顕現後

第0主日」とすることを検討しています。これは、救い主の顕現を祝い記念する特別な日は、主の洗礼で一旦終わり、その後は典礼色も緑となり、通常の期節を過ごすとの理解からです。聖霊降臨を祝った後の緑の期節が「聖霊降臨後第0主日」と位置付けられるのと同じです。この変更に伴い、顕現節第0主日の現行の暦と比べ、顕現後第0主日のほうが、○の中の数が一つ少なくなります。

二つ目は、現行の教会暦では、復活祭の次の週は「復活後第1主日」となり、以下も「復活後第0主日」となります。これに対し、復活祭の翌週を「復活節第2主日」とし、以下も「復活節第0主日」とすることを検討しています。

これは、顕現とは逆に、復活祭当日の後もご復活を祝う期節は、なおも続くとの理解からです。ですから、典礼色も白のままです。現行の復活後第0主日と比べ、検討されている復活節第0主日のほうが、○の中の数は一つ多くなります。

この他、「聖木曜日」、「聖金曜日」、「復活徹夜祭」の「聖なる3日間」を重要視します。また、現行で「聖霊降臨後最終主日」としてきたものを、①現行のままとするか、②『王

なるキリストの日』、『キリストの支配』、『終末主日』、『永遠の主日』などの位置づけにするか、③『教会暦最終主日』と呼称するか、現在、協議を重ねています。

(2)聖書朗読配分(聖書日課)
主日礼拝での聖書朗読配分として、新たに『改訂共通聖書日課』(RCL)の導入を検討しています。RCLは、最初、北米で、カトリック教会の朗読配分をもとに、聖公会、プロテスタント諸派で協議を重ねて策定したエキュメニカル(教派横断的)な聖書日課です。その後、世界的にも様々な教派で用いられるようになり、日本でも、カトリック教会と聖公会は、基本的にRCLで定める同じ福音を毎週の礼拝で聴いています。

今回、日本のルーテル教会でも、これを用いることで、世界中の多くの信仰の兄弟姉妹と共に、同じ日に、同じ聖書のみことばを聴く恵みに与かることが可能になります。また、RCLは日曜以外の月曜から土曜日の聖書日課も定めており、主日(日曜日)を中心に、日々、みことばに聴き従う生活をするように構成されています。これについては、機会ある時に改めて紹介します。

さて、ここで宗教改革の神学(思想)をまとめておきましょう。3点です。

第一に「信仰義認」というか「恩寵義認」です。つまり「恵みのみ」です。(恵みのみ)「信仰のみ」は同じ

ことですが、「恵みのみ」は神の側から、「信仰のみ」は人間の側から表現しているのです。第2に「聖書主義」、つまり「聖書のみ」です。先述しました。そして第3に「万人祭司」です。万人祭司主義の

要点は次の2点です。第一に、当たり前ですが、すべての人は神の前に平等だということ。そして第2に、どんな人であれ神様に対してはまるで祭司のように真剣に生きようということ。ですから、牧師と信徒の間には当然、役割上の区別はあるのです。ちょうど「八百屋さん」と「時計屋さん」は、人間としての存在価値は全く同じですが、仕事には区別があるのと同じです。



連載 マルティン・ルター、人生の時の時(6)

江口再起

さて、ここで宗教改革の神学(思想)をまとめておきましょう。3点です。

第一に「信仰義認」というか「恩寵義認」です。つまり「恵みのみ」です。(恵みのみ)「信仰のみ」は同じ

ことですが、「恵みのみ」は神の側から、「信仰のみ」は人間の側から表現しているのです。第2に「聖書主義」、つまり「聖書のみ」です。先述しました。そして第3に「万人祭司」です。万人祭司主義の

要点は次の2点です。第一に、当たり前ですが、すべての人は神の前に平等だということ。そして第2に、どんな人であれ神様に対してはまるで祭司のように真剣に生きようということ。ですから、牧師と信徒の間には当然、役割上の区別はあるのです。ちょうど「八百屋さん」と「時計屋さん」は、人間としての存在価値は全く同じですが、仕事には区別があるのと同じです。

り谷あり
人生、生きるとは山あり谷ありです。ルターもそうでした。まず結婚。ルターは42歳のとき、元修道女だったカタリーナ・フォン・ボラと結婚しました。従来、神に仕える修道士は独身制でしたから、この結婚は歴史的結婚です。その結果、形成された家庭は、しかし、どこにでもあろうく普通の家庭でした。いろいろ楽しいこともあり、また苦しいこともある。特別に「聖家族」というわけではありませぬ。しかし、そこがいい。

残された肖像画などを見ますと、ルターはがちりちりして健康そうに見えますが(ややメタボ)、実は人生の後半、3分の1は病いの人でした。便秘、胃の不快感、耳鳴り、めまい、腰痛、腎臓結石、狭心症、痛風、頭痛それに鬱。ルターの間論を表す有名な言葉に「罪人にして同時に義人」という言葉があります。その説明として「病気にして同時に健康」ということもルターは言っています。ともかく、いろいろ大変でした。それでもルターは生きていく。(つづく)

申し込みがはじまりました!

2015ルーテル子どもキャンプ

ルーテル子どもキャンプ
スタッフ 中村沙絵

毎年夏に行われているルーテル子どもキャンプ。1999年に開催されたルーテル国際少年少女キャンプから始まり、2006年からルーテル子どもキャンプと名前を変え、平和について学ぶキャンプと世界の国々について学ぶキャンプが毎年交互に行われています。

今年、ここで宗教改革の神学(思想)をまとめておきましょう。3点です。第一に「信仰義認」というか「恩寵義認」です。つまり「恵みのみ」です。(恵みのみ)「信仰のみ」は同じ

ことですが、「恵みのみ」は神の側から、「信仰のみ」は人間の側から表現しているのです。第2に「聖書主義」、つまり「聖書のみ」です。先述しました。そして第3に「万人祭司」です。万人祭司主義の

要点は次の2点です。第一に、当たり前ですが、すべての人は神の前に平等だということ。そして第2に、どんな人であれ神様に対してはまるで祭司のように真剣に生きようということ。ですから、牧師と信徒の間には当然、役割上の区別はあるのです。ちょうど「八百屋さん」と「時計屋さん」は、人間としての存在価値は全く同じですが、仕事には区別があるのと同じです。

り谷あり
人生、生きるとは山あり谷ありです。ルターもそうでした。まず結婚。ルターは42歳のとき、元修道女だったカタリーナ・フォン・ボラと結婚しました。従来、神に仕える修道士は独身制でしたから、この結婚は歴史的結婚です。その結果、形成された家庭は、しかし、どこにでもあろうく普通の家庭でした。いろいろ楽しいこともあり、また苦しいこともある。特別に「聖家族」というわけではありませぬ。しかし、そこがいい。

残された肖像画などを見ますと、ルターはがちりちりして健康そうに見えますが(ややメタボ)、実は人生の後半、3分の1は病いの人でした。便秘、胃の不快感、耳鳴り、めまい、腰痛、腎臓結石、狭心症、痛風、頭痛それに鬱。ルターの間論を表す有名な言葉に「罪人にして同時に義人」という言葉があります。その説明として「病気にして同時に健康」ということもルターは言っています。ともかく、いろいろ大変でした。それでもルターは生きていく。(つづく)

申し込みがはじまりました!

2015ルーテル子どもキャンプ

ルーテル子どもキャンプ
スタッフ 中村沙絵

毎年夏に行われているルーテル子どもキャンプ。1999年に開催されたルーテル国際少年少女キャンプから始まり、2006年からルーテル子どもキャンプと名前を変え、平和について学ぶキャンプと世界の国々について学ぶキャンプが毎年交互に行われています。

今年、ここで宗教改革の神学(思想)をまとめておきましょう。3点です。第一に「信仰義認」というか「恩寵義認」です。つまり「恵みのみ」です。(恵みのみ)「信仰のみ」は同じ

ことですが、「恵みのみ」は神の側から、「信仰のみ」は人間の側から表現しているのです。第2に「聖書主義」、つまり「聖書のみ」です。先述しました。そして第3に「万人祭司」です。万人祭司主義の

要点は次の2点です。第一に、当たり前ですが、すべての人は神の前に平等だということ。そして第2に、どんな人であれ神様に対してはまるで祭司のように真剣に生きようということ。ですから、牧師と信徒の間には当然、役割上の区別はあるのです。ちょうど「八百屋さん」と「時計屋さん」は、人間としての存在価値は全く同じですが、仕事には区別があるのと同じです。

り谷あり
人生、生きるとは山あり谷ありです。ルターもそうでした。まず結婚。ルターは42歳のとき、元修道女だったカタリーナ・フォン・ボラと結婚しました。従来、神に仕える修道士は独身制でしたから、この結婚は歴史的結婚です。その結果、形成された家庭は、しかし、どこにでもあろうく普通の家庭でした。いろいろ楽しいこともあり、また苦しいこともある。特別に「聖家族」というわけではありませぬ。しかし、そこがいい。

今年、ここで宗教改革の神学(思想)をまとめておきましょう。3点です。第一に「信仰義認」というか「恩寵義認」です。つまり「恵みのみ」です。(恵みのみ)「信仰のみ」は同じ

ことですが、「恵みのみ」は神の側から、「信仰のみ」は人間の側から表現しているのです。第2に「聖書主義」、つまり「聖書のみ」です。先述しました。そして第3に「万人祭司」です。万人祭司主義の

要点は次の2点です。第一に、当たり前ですが、すべての人は神の前に平等だということ。そして第2に、どんな人であれ神様に対してはまるで祭司のように真剣に生きようということ。ですから、牧師と信徒の間には当然、役割上の区別はあるのです。ちょうど「八百屋さん」と「時計屋さん」は、人間としての存在価値は全く同じですが、仕事には区別があるのと同じです。



LCM会議報告

世界宣教主事 浅野直樹

6月12日から14日にかけて海外宣教協力会議LCMが開催されました。これは、Lutheran Cooperative Mission の略で、JELCの宣教を支援する海外教会や宣教団体との合同会議のことです。

現在JELCは、アメリカ福音ルーテル教会（ELCA）、フィンランド福音宣教会（LEA）、ドイツのブラウンシュバイク教会（ELCB）の三つから宣教協力をいただいています。

近年、ブラウンシュバイクの参加がなかったのですが、今回久しぶりにトーマス・ホーフア事務局長が出席できたことで関係団体がすべてそろいました。各教区からも選ばれた代表者が1名ずつ参加し、全体会議は総勢15名となりました。また各国との個別協議も行われました。

今回のテーマは、「宗教改革500年へ、これからの宣教」です。まずは宮本新牧師が「われわれはなぜ集まるのか？」と題して基調講演をされました。宣教によって「何を伝えるのか」を考えるためには、日本がそして世界が、今どういう状況なのかを踏まえて論じることが

の必要性、今日の世俗化の問題とそれに対処するための「文脈の神学」という考え方、教会の個性は互いに浸食しあうプロセスの中で絶えず変化していくことを、宗教改革500年とこれからの宣教を考えていく際に踏まえておくべきこと、アウグスブルグ信仰告白はルター派教会のアイデンティティであると同時に、ここにこそ世界への広がりをもった宣教的原点があること、公同性を捉える新たなキーワードとして、複数の歴史が重なり合う現実を包む「共棲」(cohabitation)という概念、さらにはウェブ上の公同性の可能性へと及びました。

講演に引き続き、JELCからは白川事務局長、ELCBからはホーフア事務局長、LEAFはフイティネン伝道局長、ELCAは石田アジア・太平洋局長が発表し、

久しぶりの全体会議でしたが、各教区代表者の顔ぶれが幾分若返り、「これからの宣教」に取り組むのにふさわしかったといえます。

光の子会の働きは、日本福音ルーテル門司教会付属門司幼稚園の園庭を、知的障がい児の遊び場として開放したことに始まります。その出会いから、教会が中心になり1972年に社会福祉法人光の子会を設立、翌年、知的障害児通園施設光の子学園を開園しました。



ところで、当時の光の子学園には0歳から18歳の方が通園していました。そのような中、光の子学園の卒園者が（また地

域の障がい者が）仲間と一緒にいきいきと働くことのできる場所として、1976年に知的障害者通所授産施設ひかり工芸舎を、また在宅の障がい者を受け入れていくために、1998年にひかり工芸舎谷町分場（現・たまち光舎）を開設しました。

現在は、法制度が変わり、光の子学園は児童発達支援センターになり、ひかり工芸舎は就労移行支援事業・生活介護事業を行う多機能型事業所、たまち光舎は就労継続支援B型事業を行う事業所になりました。したが、子どもたちや利用者が、遊び働くことを通して成長していく場所であることに変わりはありません。

全国教師会宗教改革500年記念事業



全国教師会として宗教改革500年を記念し、教師会として意義があり、また教会や社会に対して責任を果たしていくために、2つの事業を推進することとしました。

このことを通して、教師

間の連帯を励ますことになることを期待し、また宗教改革500年の節目に教師の働きの今を切り取る「説教」と「ルターを語る」という作業を通して、ルーセラナイデンティティを表現することになればと考えています。現任教師の皆さんにはすでに依頼をしておき、数件の原稿が寄せられています。教師の皆さんはご協力をよろしくお願いいたします。

①説教の作成
この節目に、み言葉に立つ教会の教師集団として

②ルターを語る
宗教改革やルターについてのリソースとして社会に貢献するべく、「街のルター博士」としての役割を果たす。そのために、全教師が「ルターを語る」と

説教に取り組み、後世に残すために説教集を編纂し、発行します。

執筆依頼対象
2015年度時点での現職全教師、牧会委嘱を受けている教師
募集期間
2015年5月～2016年3月末

内容
説教（とっておきの1編。あまり古いものでも可。主日礼拝でなされた説教と限らない（例えば『まるうてる』へ寄稿さ

本文4000字以内
体裁
タイトル、聖句（説教の中心となる1～2節）、執筆者名(実名)

執筆依頼対象
定年教師を含む全教師
募集期間
2015年6月～2017年3月末

「ルターを語る」
無制限（あまりに長いものは読んでいただけないとと思われるので、ご配慮ください。）
体裁

宛先
jckkyoushikai@gmail.com
（全国教師会書記・安井尚、寄せられた原稿につきましては、全国教師会の編集方針に従い、不快語、差別語を中心に修正と編集を行ないますこと、ご了承下さい。）

光の子会の働きは、日本福音ルーテル門司教会付属門司幼稚園の園庭を、知的障がい児の遊び場として開放したことに始まります。その出会いから、教会が中心になり1972年に社会福祉法人光の子会を設立、翌年、知的障害児通園施設光の子学園を開園しました。

ところで、当時の光の子学園には0歳から18歳の方が通園していました。そのような中、光の子学園の卒園者が（また地域の障がい者が）仲間と一緒にいきいきと働くことのできる場所として、1976年に知的障害者通所授産施設ひかり工芸舎を、また在宅の障がい者を受け入れていくために、1998年にひかり工芸舎谷町分場（現・たまち光舎）を開設しました。

現在は、法制度が変わり、光の子学園は児童発達支援センターになり、ひかり工芸舎は就労移行支援事業・生活介護事業を行う多機能型事業所、たまち光舎は就労継続支援B型事業を行う事業所になりました。したが、子どもたちや利用者が、遊び働くことを通して成長していく場所であることに変わりはありません。

